ARCHION
CARRYING TOMORROW
TSE: 543A



2026年度(2027年3月期)
第1四半期決算 & 見通し

FUSO | HINO

2026年8月12日

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ディスクレーマー

- 本資料は、ARCHION株式会社（以下「当社」）により作成されたものです。本資料は情報提供のみを目的として提供されるものであり、有価証券の購入や売却その他の投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料には、財務予測その他の将来見通しに関する情報が含まれています。当社は、将来の事業活動、業績、事象および状況に 関して、「想定」「予想」「計画」「戦略」「予測」「見通し」「可能性」等の表現、またはこれらに類似する表現を使用する場合がありますが、すべての場合においてこれらに限定されるものではありません。当社またはその関係会社、ならびにそれらの役員、従業員または代理人は、これらの予測その他の将来見通しに関する情報の達成可能性もしくは合理性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行うものではありません。また、法令または規制により求められる場合を除き、当社は、これらの情報を更新する義務を負う ものではありません。さらに、これらの予測情報は、国際財務報告基準その他の会計基準に準拠して作成されたものではなく、当社の独立した会計監査人による監査も受けておりません。本資料に含ま れるすべての将来予測情報は、暫定的かつ本質的に不確実性を伴うものであり、変更される可能性があり、実現しない可能性のある仮定に基づいています。したがって、予測対象期間における当社の最終的な業績が、これらの見積もりと大きく異ならないとの保証はありません。
- 当社は、三菱ふそうトラック・バス株式会社（以下「三菱ふそう」または「MFTBC」）と日野自動車株式会社（以下「日野」または「日野自動車」）との経営統合（以下「本経営統合」）の完了を受け、2026年4月1日に事業を開始しました。2026年4月1日より前において、当社には事業運営実績はなく、重要な資産または負債も保有しておらず、当社設立および本 経営統合の実行に付随する活動以外の重要な事業活動は行っておりませんでした。
- 当社の当期の連結財務諸表との比較可能性を高めるため、本資料には、 前事業年度および全事業年度の四半期中間期間における当社の未監査のプロフォーマ財務情報が含まれており、これらは、経営統合が2026年3月31日に終了する事業年度の期首から完了していたかのように扱ったものです。当該未監査のプロフォーマ財務情報は、本経営統合に関する一定の調整、仮定および暫定的な見積り、ならびに会計基準の差異、会計方針の適用および決算期の差異に関する調整に基づいて作成されています。当該未監査のプロフォーマ調整は、入手可能な情報および当社経営陣が合理的と考える一定の仮定に基づいていますが、当該未監査のプロ フォーマ財務情報は、当該期間またはいかなる期間における当社の実際の過去の業績、財政状態、または本経営統合により実現したシナジー効果を示すことを意図したものではありません。
- 本書面等に掲載されている画像の一部は、生成系人工知能（「AI」）ツールを用いて生成またはデジタル加工されたものを含みます。

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

本日のプレゼンター



カール・デッペン

ARCHION
代表取締役社長 CEO



ヘタル・ラリギ

ARCHION
代表取締役 CFO

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION

CARRYING TOMORROW

- 2026年度第1四半期のARCHIONグループは計画通りの順調なスタート
- 財務実績についても2026年度第1四半期は計画通りに進捗
- 両社の文化・技術的統合に向けた活動についても順調に進捗
- 株式売出し(グローバル・オファリング)についても予定通り完了



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

説明内容

2026年度(2027年3月期) 決算説明

1. 事業動向

2. 第1四半期決算 & 通期見通し

参考資料



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

事業アップデート – 統合が順調に進捗

シナジーに向けた基盤の強化



第1回株主総会を開催、
株主の皆様と対話



対話会を通じた
従業員と経営陣の緊密な関係の構築

Logita
Logistics
Mobility
Data

日野・三菱ふそうの車両データを活用した分析サービスを開始
約50万台の車両から得られるデータを活用し、物流分野における社会的課題の解決に貢献



サプライヤーデーを開催、
仕入先様との連携を強化

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHIONグループ – 日野とふそうが新モデル発売、ARCHIONはCASEの取り組みを強化

ARCHION
CARRYING TOMORROW



CJPTに参画し CASE領域の取り組みを強化



小型：FUSO キャンター

燃費性能を向上させた改良モデル

小型電動： FUSO eCanter

国内EVトラック初のクレーン専用シャシ設定を追加



大型：日野プロフィア

安全運転支援と運転負荷軽減機能のさらなる充実で
より快適な運転環境を実現
13Lエンジンに対応

小型電動：日野デュトロ Z EV

航続距離を20%以上向上
安全性と使い勝手を向上



自工会の水素タスクフォースに参画[1]

および

国土交通省と連携[1]

日本における水素燃料長距離トラック輸送と自律型物流の導入支援のため

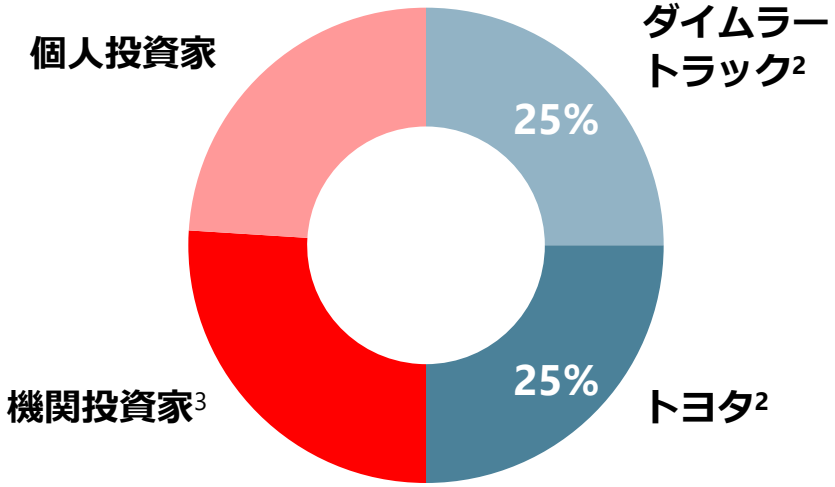
1 日野と三菱ふそうは日本自動車工業会(JAMA)の会員。個社として国土交通省の事業(自動運転トラック実装支援事業)に参加

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

株式売出し(グローバル・オファリング)完了– 独立したグローバル企業として、持続的成長を支える広範かつ多様な株主基盤を確立

株式売出し後の予想株主構成[1]

(2026年度末の予想割合)



株式売出しに関する詳細は、2026年7月29日公表のプレスリリースをご参照ください。

売出しの目的

- **ダイムラー・トヨタ以外の独立株主**の比率向上
- **海外機関投資家の増加を含む**、バランスの取れた株主構成
- 東証プライム市場の**上場維持基準(流通株式比率35%以上)のクリア**
- ARCHION株式の**流動性の向上**

ダイムラー・トヨタとの変わらぬ連携体制

- 2025年に締結した経営統合の最終契約通り、
  売出し後も両社はARCHION株式を25%ずつ所有、
  統合前と変わらぬ連携体制を維持

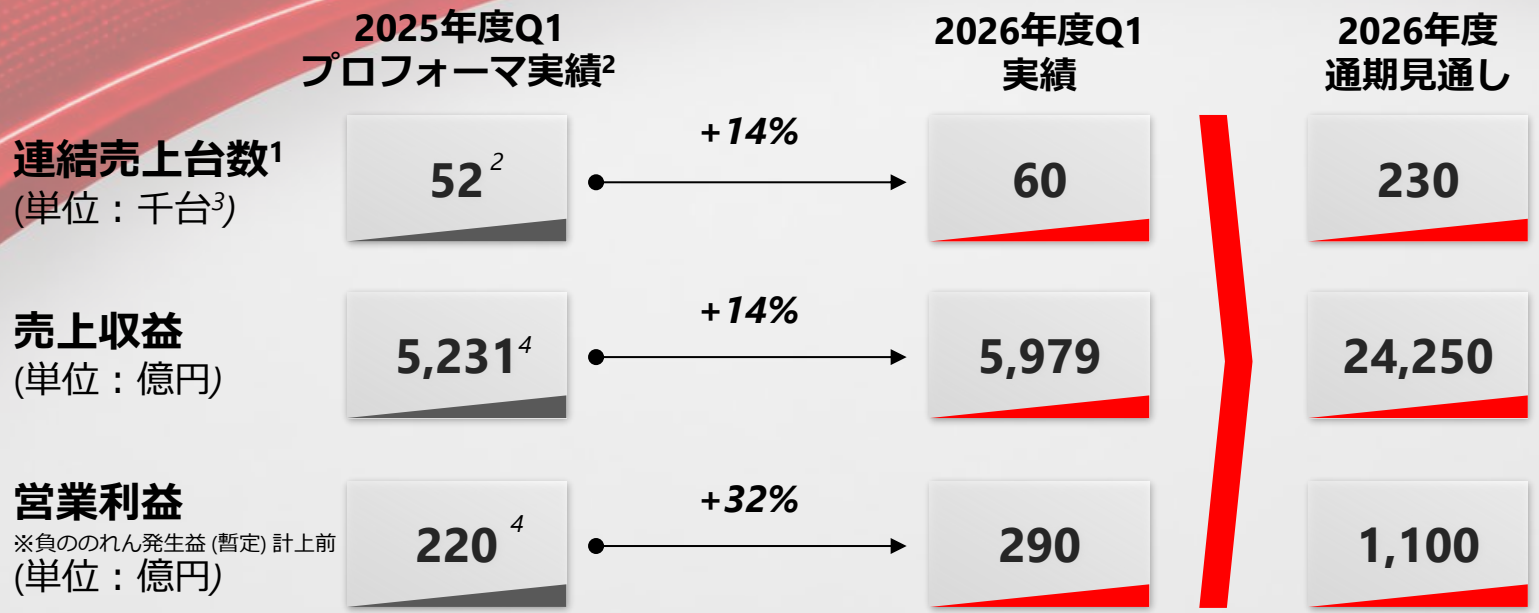
DAIMLER TRUCK　TOYOTA

1 オーバーアロットメントによる売出しに関連して行使されるグリーンシューオプションが、上限株式数である全株（118,178,300 株）につき行使された場合。イメージ図; 2 議決権比率については、トヨタが19.9%、ダイムラートラックが26.7%; 3 三菱グループ企業を含む

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION
CARRYING TOMORROW

2026年度第1四半期は、通期見通し達成に向けて計画通り進捗



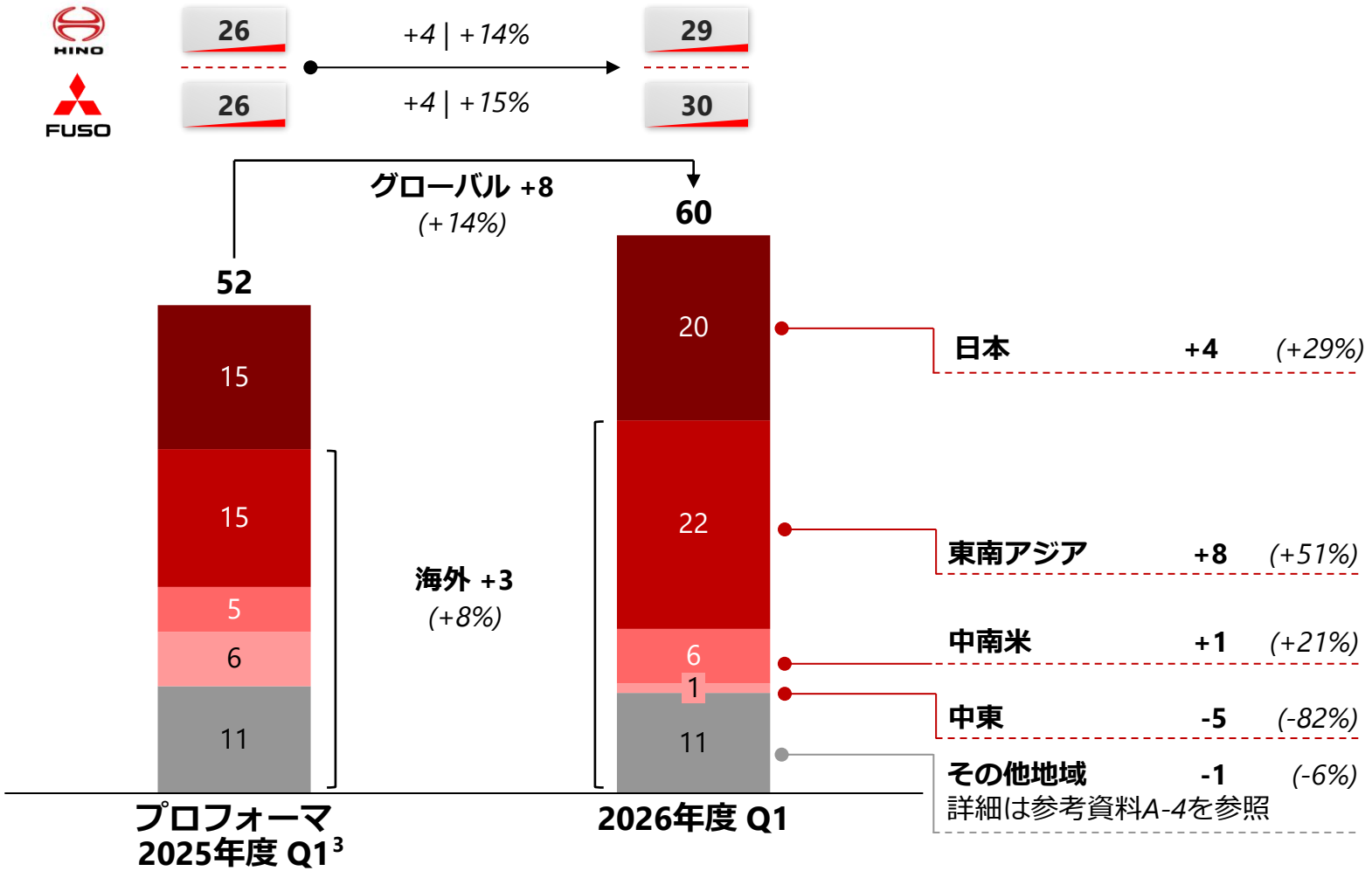
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 連結売上台数の定義については参考資料 A-5 を参照; 2 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度第1四半期(25年4月～25年6月)および日野25年度第1四半期の社内データの合計; 3 数値は千台単位で四捨五入; 4 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

連結売上台数
主に国内の台数回復により前年同期比+8千台(+14%)の増加

連結売上台数[1]

(単位：千台[2])





HIGHLIGHTS

- **販売台数は**日野ふそう両ブランドともに増加し、**前年同期比+7.5千台(+14%)の増加**
- **日本市場では**出荷再開や供給改善に伴い、**+4千台(+29%)の増加**
- **東南アジア市場では主にインドネシア政府向け**大規模受注(約8,000台)により、**+8千台(+51%)の大幅増加**
- **中東市場では市場の混乱影響を大きく受け**、販売台数は約1千台、前年同期比-5千台 (-82%)の大幅減

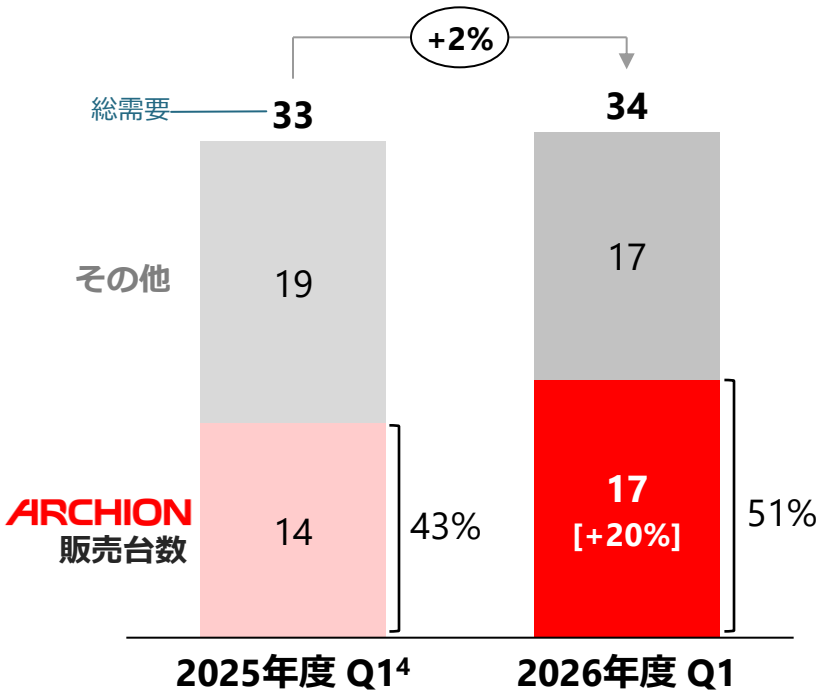
1 連結売上台数の定義については参考資料 A-5 を参照; 2 数値は千台単位で四捨五入; 3 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度第1四半期(25年4月～25年6月)および日野25年度第1四半期の社内データの合計;

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

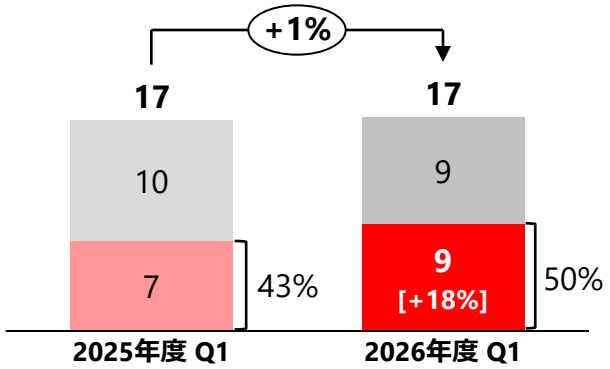
国内トラック市場の状況
総需要が横ばいの中、販売台数[1]は前年同期比+20%の増加

2026年度 第1四半期 国内トラック総需要およびシェア[3] (>3.5t)
(単位：千台[2] / シェア[3]：総需要に対するARCHION販売台数の割合)

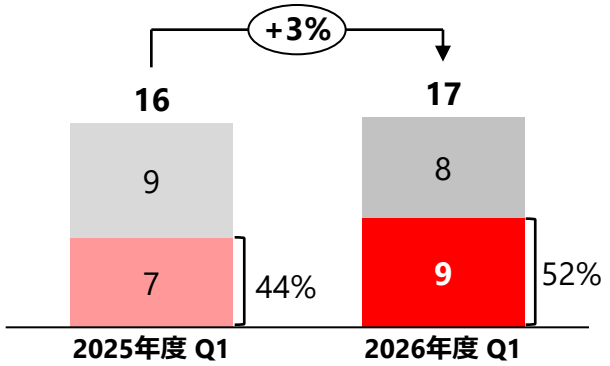
トラックの総需要 & 販売台数



大中型トラック



小型トラック





HIGHLIGHTS

- **トラックの総需要は大中型、小型ともにほぼ横ばい**、全体としても微増(+2%)
- 販売台数は出荷再開や供給体制の強化により**大中型、小型ともに増加し、3千台(+20%)の増加**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 グローバル販売台数のうち、国内で販売した台数(グローバル販売台数の定義については参考資料A-5を参照; 2 千台単位で四捨五入; 3 シェアは社内データを使用; 4 25年度プロフォーマの販売台数：ふそう25年度第1四半期(25年4月～25年6月)および日野25年度第1四半期の社内データの合計

説明内容

2026年度(2027年3月期) 決算説明

1. 事業動向

2. 第1四半期決算 & 通期見通し

参考資料



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期(2026年度) 、第1四半期(4-6月)主要指標の実績



60

連結売上台数[1]
(千台)

▲ **+14%** *vs 2025年度 Q1*
プロフォーマ

2025年度プロフォーマQ1[2]: 52

5,979

売上収益
(億円)

▲ **+14%** *vs 2025年度 Q1*
プロフォーマ

2025年度プロフォーマ Q1[2]: 5,231

負ののれん発生益(暫定)[5]計上前

290

営業利益
(億円)

4.9%
RoS[4]
※営業利益率

▲**+32%** *vs 2025年度 Q1*
プロフォーマ (RoS **+0.7%pts**)

2025年度プロフォーマ Q1[3]: 220 | RoS 4.2%

負ののれん発生益(暫定)[5]除く

182

当期利益
親会社の所有者に帰属する
当期利益
(億円)

2025年度プロフォーマ Q1[3]: 182

負ののれん発生益(暫定)[5]含む

2,623

営業利益 *(億円)*

2,515

当期利益
親会社の所有者に帰属する
当期利益
(億円)

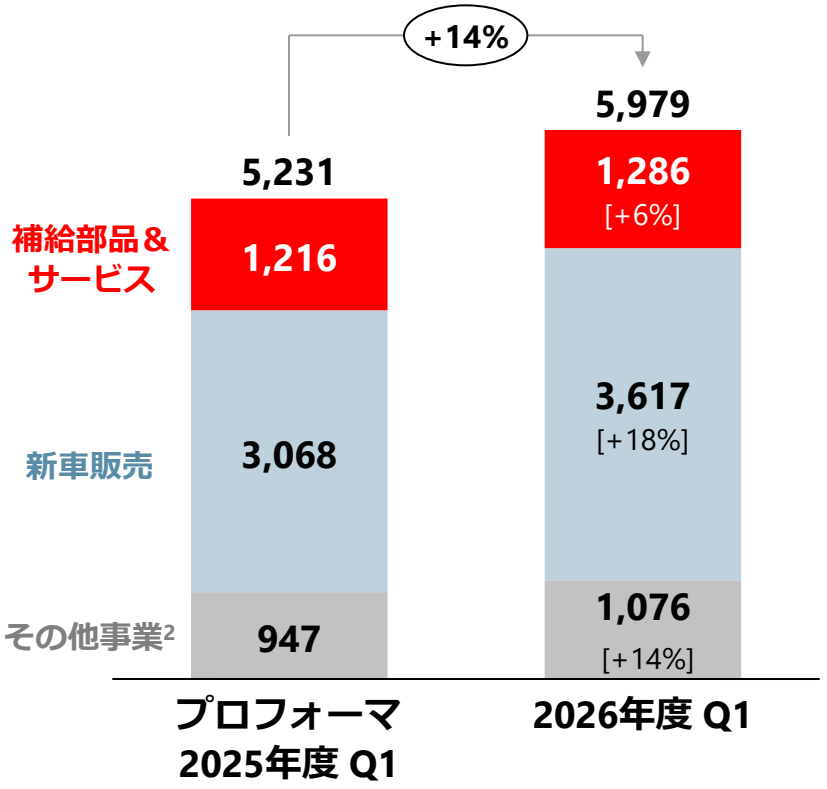
数値は全てIFRSに基づく 1.連結売上台数の定義については、参考資料A-5を参照 2.日野とふそうの連結売上台数合計値(FY25 Q1) 3. 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査; 4. 営業利益を売上収益で割って算出(IFRS); 5.本資料に記載した負ののれん発生益は暫定的なものであり、追加情報の入手や 2027年3月31日に終了する会計年度の監査完了に伴い、変更される可能性がある

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

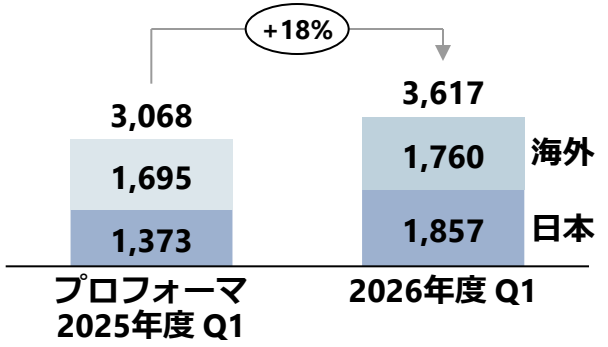
売上収益の状況
全事業セグメントにおいて増加し、前年同期比+14%の増加

事業別売上
(億円)

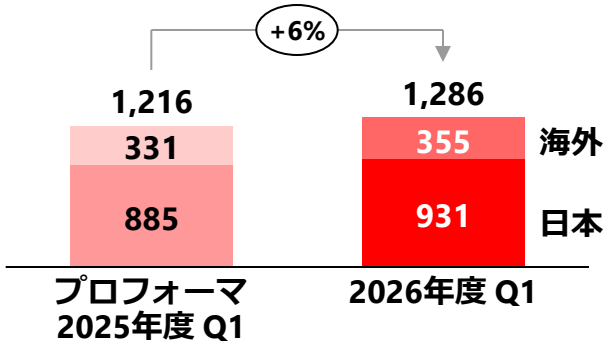
売上収益



新車販売



補給部品＆サービス





HIGHLIGHTS

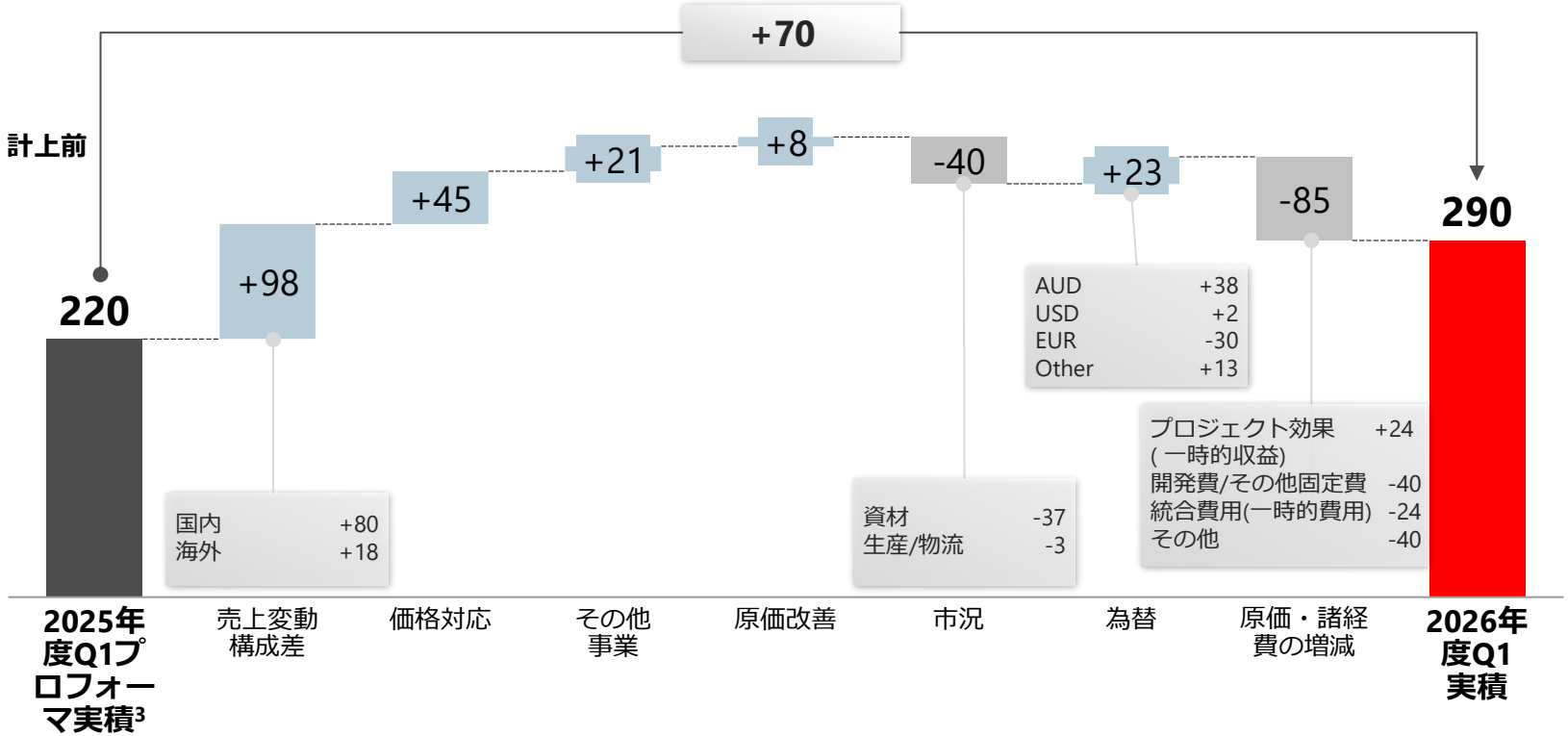
- **新車販売の売上は**主に日本の連結売上台数の増加に伴い、前年同期比**+18%の増加**
- **海外の新車販売の売上は微増。**台数増と為替が貢献するも、一部製品構成差による減影響あり
- **補給部品＆サービスの売上**も着実に成長し、前年同期比+6%の増加

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 その他事業の収益は主に産業用エンジン、トヨタ向け部品・ダイナOEM等; 2 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

2026年度第1四半期(IFRS) 営業利益の増減要因（対2025年度 Q1プロフォーマ）

	2025年度Q1プロフォーマ実績[3]	2026年度Q1実績
連結売上台数 (千台)	52	60
売上収益 (億円)	5,231	5,979
営業利益率[1] (in %)	4.2%	4.9%





HIGHLIGHTS

- **2026年度第1四半期 負ののれん発生益[2]計上前営業利益は290億円、**販売台数の回復、補給部品＆サービスの伸長、および価格対応による収益改善の一方で、一時的な費用によりその一部が相殺
- 主に国内の**販売台数増加と価格対応**が増益に貢献
- **インフレ影響は**価格対応、原価改善および為替効果により**相殺。**

1 2026年度Q1利益率は負ののれん発生益（暫定）計上前営業利益 / 売上収益 2; 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある 3; 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査 4; 2025年度プロフォーマ実績および2026年度実績に適用される為替レートについては、参考資料A-6を参照

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

中東の最新状況について - 代替ルートを通じて出荷を再開、影響を引き続き注視

現地パートナーとの継続的な連携

- **陸上輸送や代替港湾を含む代替物流ルートを活用**し、2026年度第1四半期に同地域へ約1,000台の車両および部品を輸送
- 現況下においても、現地における**顧客の需要は堅調**
- さらなる海運・陸運パートナーとの継続的な連携を通じた**物流網の確保・拡大**に取り組む
- 代替ルートの利用や輸送能力の制約により、**運賃・輸送コストが上昇**

主な前提条件は期首公表時から不変

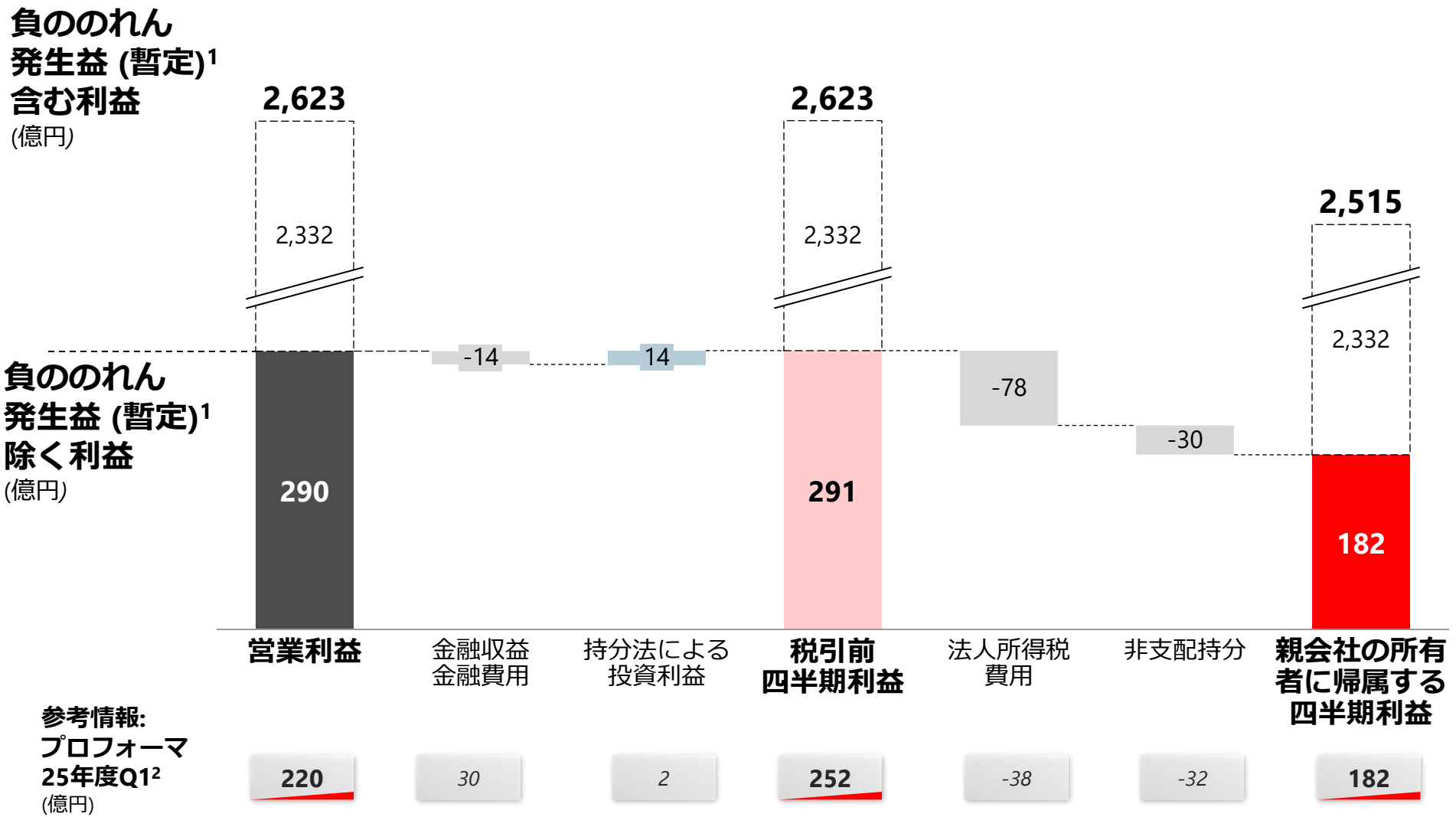
- 2026年度の通期見通しでは、中東への直接出荷の減少およびインフレの動向による影響を、**全体で約-150億円織り込み済(営業利益)**
- 2026年度 第1四半期実績における中東情勢の影響は、期首公表時の想定から大きな乖離なし、**通期見通しも不変**

- 代替物流ルートは確立したものの、**既存ルートでの出荷の再開時期は依然として不透明**
- **サプライチェーン、生産、世界的な需要への直接・間接的な影響について引き続き注視**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

2026年度第1四半期 営業利益から当期利益の変動要因





HIGHLIGHTS

- **負ののれん発生益（暫定）2,332億円を損益計算書上の営業利益に計上、**なお、PPA(取得原価の配分)による影響は2026年4月1日時点のARCHIONの連結貸借対照表の純資産に反映[1]
- **負ののれん発生益（暫定）は**経営統合に起因する一時的な会計上の利益であり、**キャッシュフローや配当方針には影響なし**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある(詳細は参考資料A-3を参照) 2; 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

2026年度第1四半期 財務サマリ (IFRS)

(金額単位：億円) **負ののれん発生益(暫定)2,332億円[1]を除いた数値**	25年度Q1 プロフォーマ実績	26年度Q1 実績	変動 (%)
連結売上台数 (千台)	**52**	**60**	**+8** *(+14%)*
売上収益	**5,231**	**5,979**	**+748** *(+14%)*
営業利益	**220**	**290**	**70** *(+32%)*
営業利益率 (RoS)	*4.2%*	*4.9%*	*+0.7%*
当期利益	**214**	**212**	**-2** *(-1%)*
親会社の所有者に帰属する当期利益	**182**	**182**	***±0*** *(±0%)*
フリーキャッシュフロー (FCF)[2]	-	**131**	-

負ののれん発生益(暫定)2,332億円[1]を含んだ数値			
営業利益	**220**	**2,623**	**+2,403**
当期利益	**214**	**2,544**	**+2,330**
親会社の所有者に帰属する当期利益	**182**	**2,515**	**+2,333**
1株当たり当期利益(EPS)	**7円**	**91円**	***+85円***

詳細については、参考資料*A-9*を参照

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある; 2 フリー・キャッシュ・フロー：営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計から、連結範囲の変更を伴う子会社の取得による収入を除いたもの

2026年度通期見通し 財務サマリ (IFRS)

(金額単位：億円)	25年度 プロフォーマ実績[2]	26年度通期見通し (期首公表)	26年度通期見通し (Q1公表)	変動 (期首公表対Q1公表)
負ののれん発生益(暫定)2,332億円[1]を除いた数値				
連結売上台数 (千台)	**218**	**230**	**230**	**-**
売上収益	**22,460**	**24,250**	**24,250**	**-**
営業利益	**725[2]**	**1,100**	**1,100**	**-**
売上収益営業利益率 (RoS)	*3.2%*	*4.5%*	*4.5%*	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	**1,145**	**700**	**700**	**-**
1株当たり当期利益[3](EPS)	-	**25円**	**25円**	**-**
配当性向[3]	-	**約30%**	**約30%**	**-**
1株当たり配当金[3] (DPS)	-	**8円**	**8円**	**-**
負ののれん発生益(暫定)*2,332*億円[1]を含んだ数値				
営業利益	**725[2]**	**1,100**	**3,432**	**+2,332**
当期利益	**1,218**	**770**	**3,102**	**+2,332**
親会社の所有者に帰属する当期利益	**1,145**	**700**	**3,032**	**+2,332**
1株当たり当期利益(EPS)	**-**	**25円**	**110円**	**+85円**

事業上の見通しは前回公表時から変更なし

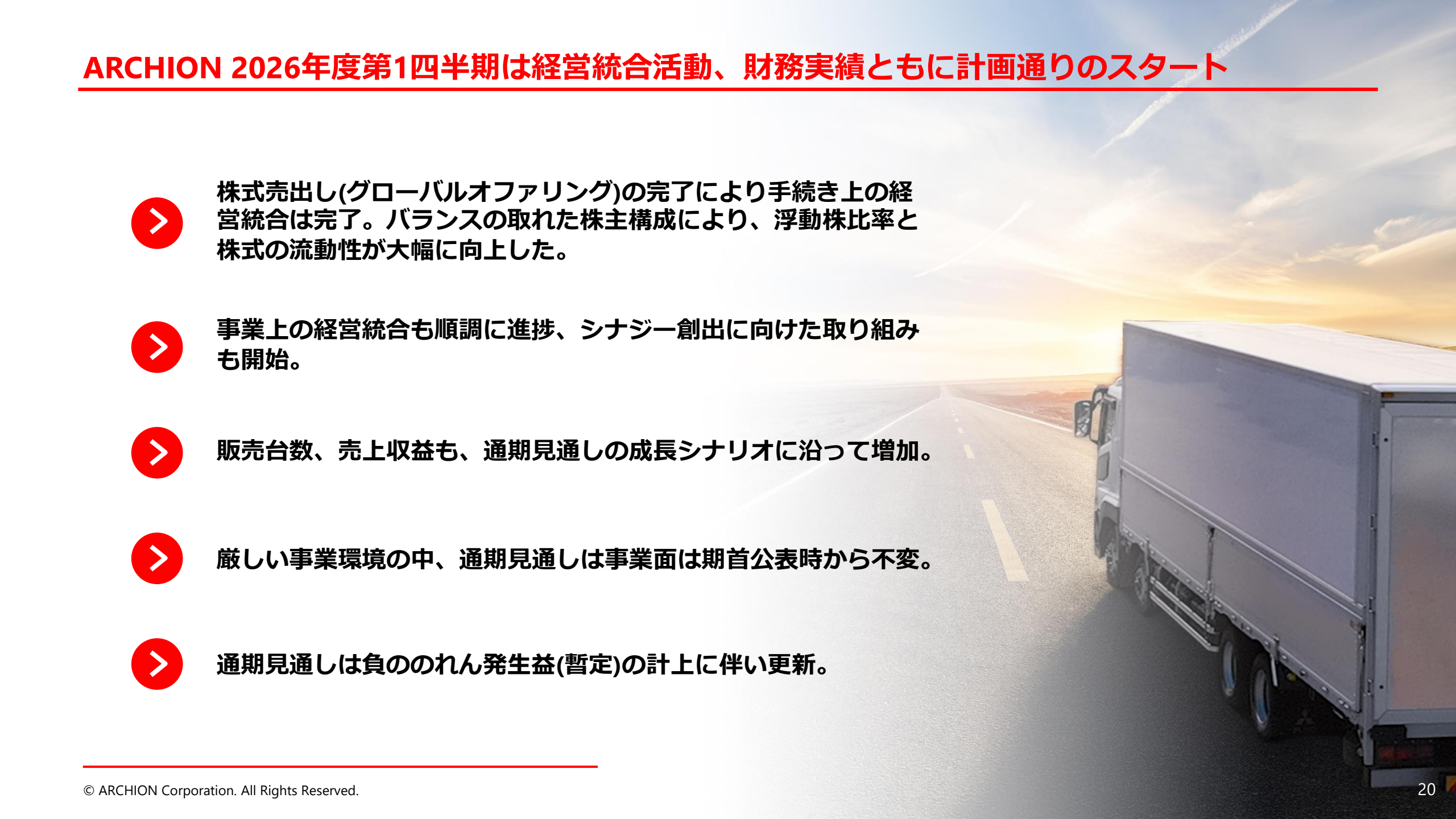
負ののれん発生益(暫定)2,332億円について今回見通しを更新

2025年度プロフォーマ実績および2026年度見通しに適用される為替レートについては、参考資料A-6を参照 1. 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある 2. 2025年度の連結プロフォーマベース。北米における認証に関連する369億円の特別損失を除外するよう調整済(2026年5月14日に公表された2025年度の開示資料を参照) 3. EPS、配当性向、およびDPSは、負ののれん発生益を除いた調整後親会社の所有者に帰属する当期利益に基づいて算出

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION 2026年度第1四半期は経営統合活動、財務実績ともに計画通りのスタート

- 株式売出し(グローバルオファリング)の完了により手続き上の経営統合は完了。バランスの取れた株主構成により、浮動株比率と株式の流動性が大幅に向上した。
- 事業上の経営統合も順調に進捗、シナジー創出に向けた取り組みも開始。
- 販売台数、売上収益も、通期見通しの成長シナリオに沿って増加。
- 厳しい事業環境の中、通期見通しは事業面は期首公表時から不変。
- 通期見通しは負ののれん発生益(暫定)の計上に伴い更新。



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION

CARRYING TOMORROW



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

説明内容

2026年度(2027年3月期) 決算説明

1. 事業動向
2. 第1四半期決算 & 通期見通し

参考資料



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

目次

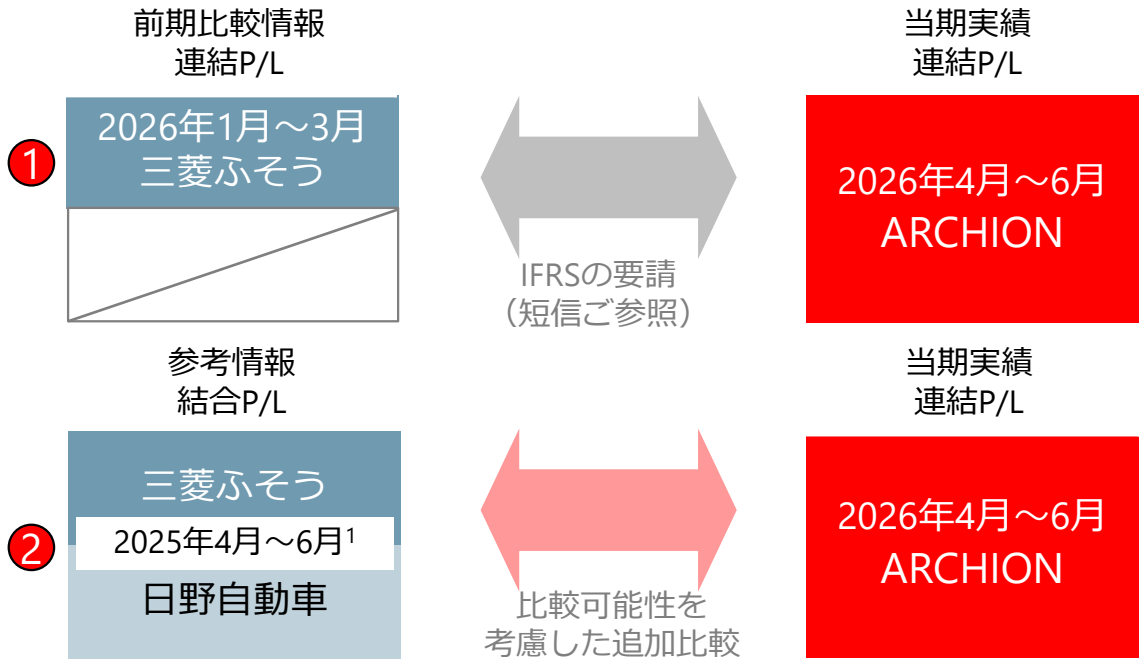
A-1) 比較年度に関するご説明
A-2) 負ののれん発生益
A-3) 企業結合に伴う負ののれん発生益
A-4) グローバル地域別連結売上台数
A-5) 販売台数の定義
A-6) 為替レート
A-7) 2026年度第1四半期(IFRS) 連結貸借対照表（対2025年度 プロフォーマBS）
A-8) 2026年度第1四半期(IFRS) 連結損益計算書（対2025年度 第1四半期プロフォーマPL）
A-9) ARCHION連結 主要財務指標
A-10) 発行済株式総数の算出方法
以下前回公表(5月14日)資料の再掲
A-11) 2026年度連結売上台数の見通し（対2025年度 プロフォーマ）
A-12) 2026年度事業別売上の見通し（対2025年度 プロフォーマ）
A-13) 2026年度営業利益の見通し（対2025年度 プロフォーマ）

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-1 比較年度に関するご説明

① 本経営統合は、会計上の逆取得に該当し、当社の連結財務諸表は、IFRSの要請に伴い、会計上の取得企業である三菱ふそうの連結財務諸表を引き継いで作成する必要がございます。
三菱ふそうは法定決算日の変更（12月末から3月末への変更）を行っております。そのため、2027年3月期における当社の連結財務諸表の比較情報は、三菱ふそうの2026年１月１日から同年３月31日までの直前連結会計年度の情報を表示する必要がございます。これは、第１四半期から第４四半期までの各四半期において同様の取り扱いとなります。

② 一方で、当期の連結財務諸表との比較可能性を高めるため、本資料では、日野自動車と三菱ふそうが2026年３月期の期首から連結されていたと仮定し、一定の調整を行った2025年４月１日から2025年６月30日までの統合数値との比較を行っております。

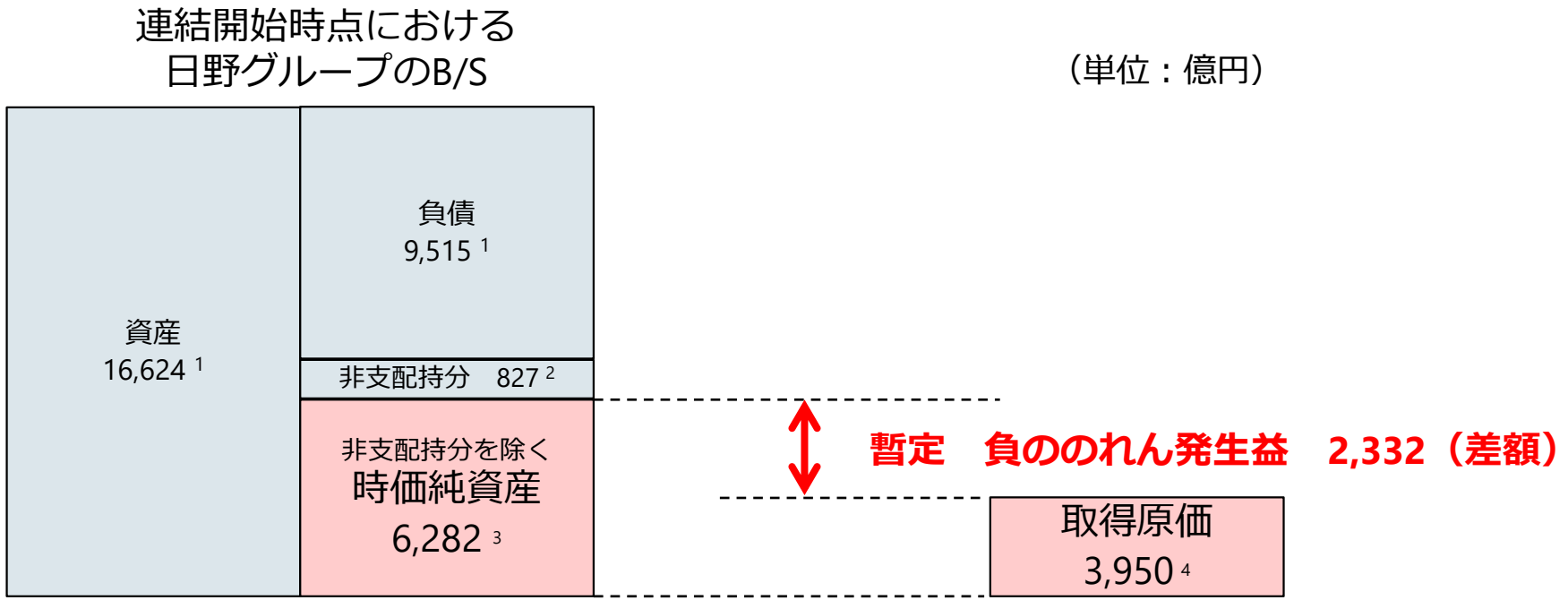


1 日野自動車及び三菱ふそうが2026年3月期の期首から連結されていたと仮定し、また羽村工場の移管及び日野国内販売子会社の経営権移管に伴う調整を行い算定したものであり、未監査の数値となります

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-2 負ののれん発生益

本経営統合では、ふそうを取得企業、日野を被取得企業として企業結合の会計処理を行いました。
取得対価が日野グループの非支配持分を除く時価純資産を下回るため、割安購入が行われたものとして負ののれん発生益が生じます。
なお、取得原価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な情報に基づいて暫定的に負ののれん発生益を算定しています。
負ののれん発生益は非現金収入の利益であり、これにより分配可能額が増加することはございません。

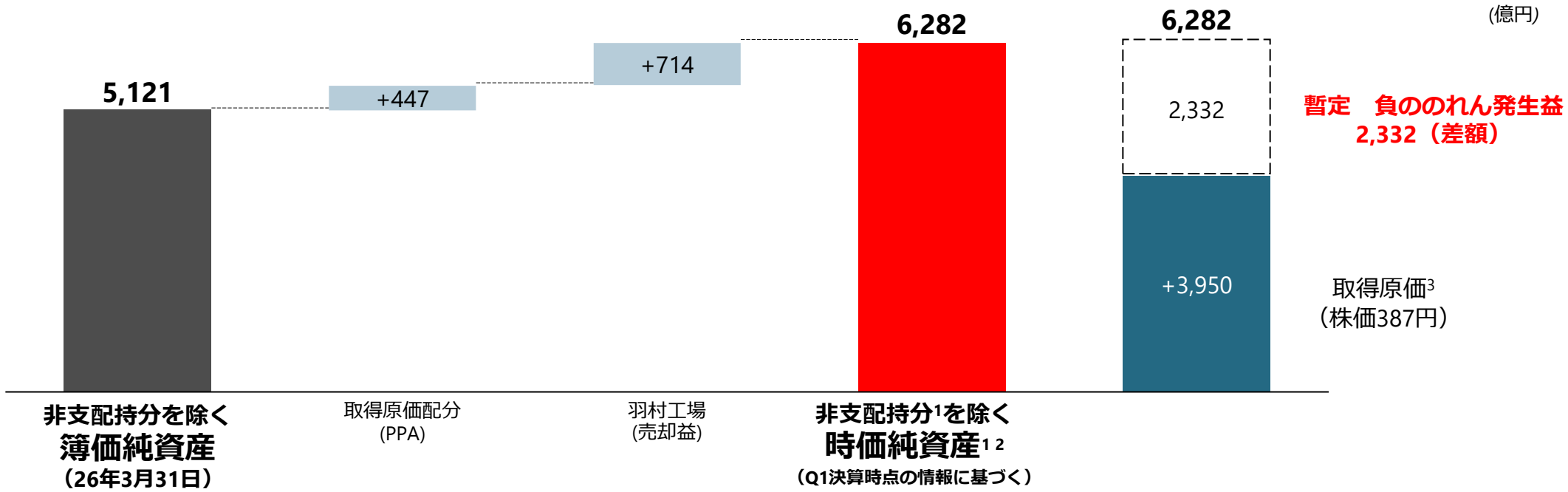


© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 本統合のクロージング時点の公正価値（Q1決算時点の情報に基づく）; 2 日野グループの識別可能な純資産に対する非支配株主の持分割合で測定; 3 非支配持分を除く時価純資産＝資産－負債－非支配持分; 4 日野株式の東京証券取引所における売買最終日の最終値段に基づく日野の株式時価総額

A-3 企業結合に伴う負ののれん発生益

取得原価配分（PPA）を行うために日野グループの資産・負債の公正価値評価を行いました。
また、羽村工場の移管は経営統合のクロージング前提となるため、移管に伴う売却益は時価純資産に含まれます。
取得原価配分（PPA）と羽村工場の移管に伴う売却益を調整した後の時価純資産に基づき負ののれん発生益を算定しました。
なお、取得原価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な情報に基づいて暫定的に負ののれん発生益を算定しています。



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 日野グループの識別可能な純資産に対する非支配株主の持分割合で測定; 2 非支配持分を除く時価純資産＝資産 – 負債 – 非支配持分; 3 日野株式の東京証券取引所における売買最終日の最終値段に基づく日野の株式時価総額

A-4 グローバル地域別連結売上台数

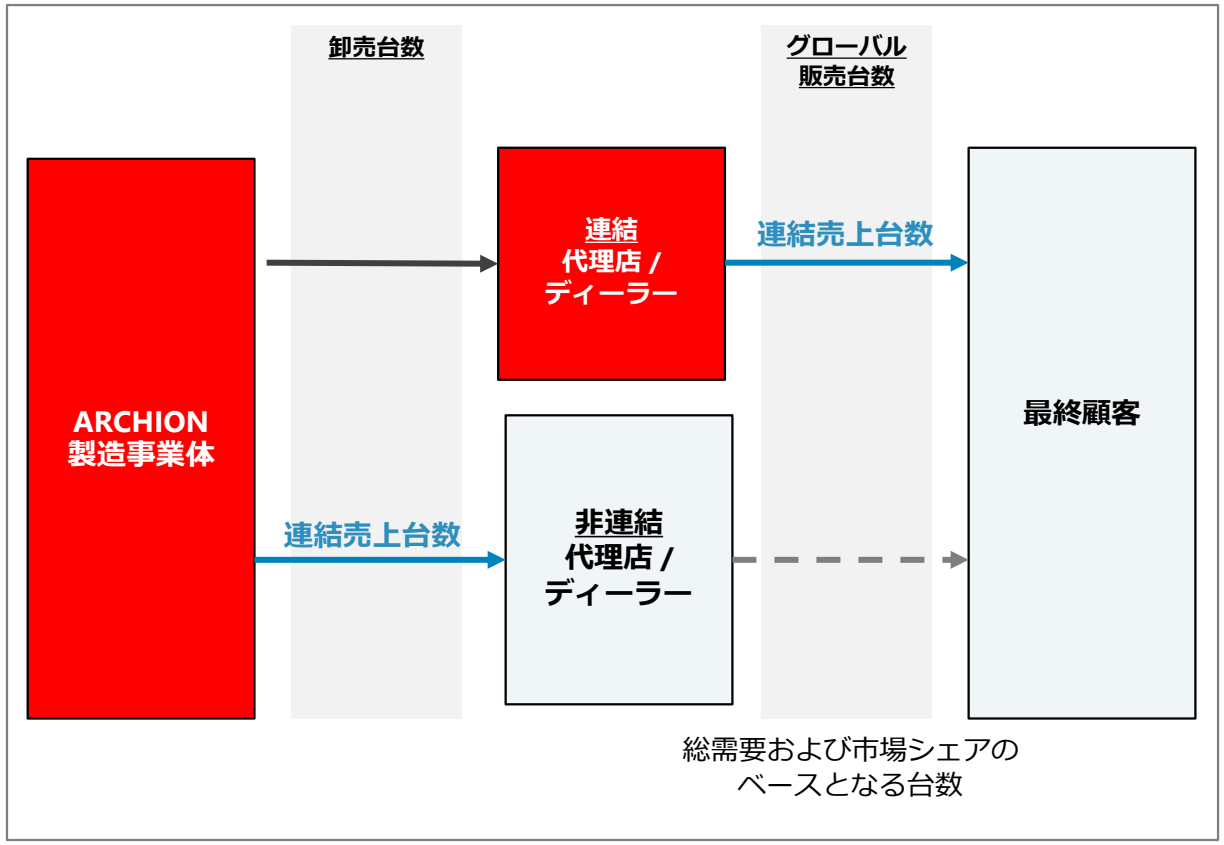
連結売上台数[1]

連結売上台数 (ARCHION連結)	2025年度Q1実績(累計) 25年4月 - 25年6月 (台)	2026年度Q1実績(累計) 26年4月 - 26年6月 (台)	2026年Q1実績 vs 2025年Q1実績(累計) 対前年変動(台)	2026年Q1実績 vs 2025年Q1実績(累計) 対前年変動(%)
日本	**15,408**	**19,801**	**+4,393**	**+29%**
大/中型トラック	7,554	8,976	+1,422	+19%
小型トラック	7022	9,611	+2,589	+37%
バス	832	1,214	+382	+46%
東南アジア	**14,751**	**22,315**	**+7,564**	**+51%**
インドネシア	10,025	17,683	+7,658	+76%
タイ	906	1,282	+376	+42%
その他	3,820	3,350	-470	-12%
その他 アジア	**3,131**	**3,906**	**+775**	**+25%**
台湾	2,472	3,133	+661	+27%
その他	659	773	+114	+17%
オセアニア	**2,708**	**1,913**	**-795**	**-29%**
オーストラリア	2,385	1,693	-692	-29%
その他	323	220	-103	-32%
北米	**1,584**	**942**	**-642**	**-41%**
中南米	**4,819**	**5,838**	**+1,019**	**+21%**
中東	**5,799**	**1,023**	**-4,776**	**-82%**
アフリカ	**2,133**	**2,434**	**+301**	**+14%**
欧州	**1,905**	**1,542**	**-363**	**-19%**
合計	**52,238**	**59,714**	**+7,476**	**+14%**

1 連結売上台数の定義については参考資料 A-5 を参照 2 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度第1四半期(25年4月～25年6月)および日野25年度第1四半期の社内データの合計

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-5 販売台数の定義



連結売上台数

定義: グループ内取引消去後の**ARCHION連結外へに売り上げた新車の台数**(含む KD)。連結売上高に対応する数値。

グローバル販売台数

定義: **ARCHIONグループの連結/非連結に関わらず、最終顧客に販売され、当該市場で登録された新車の台数（卸売は含まない）。**

連結売上台数　連結売上台数の計算上消去される台数　ARCHIONおよびARCHION連結子会社

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-6 為替レート

為替レート(25年度Q1プロフォーマ実績 対 26年度Q1実績)

為替 (1現地通貨あたり円)	25年度Q1 プロフォーマ実績	26年度Q1 実績	変動%	営業利益への影響 (億円)
USD	145	159	*+10%*	*+2*
EUR	163	185	*+13%*	*-30*
THB	4.37	4.89	*+12%*	*+13*
100 IDR	0.88	0.92	*+5%*	*+06*
AUD	93	113	*+23%*	*+38*
TWD	4.57	5.04	*+10%*	*+9*

為替レート(25年度プロフォーマ実績 対 26年度通期見通し)

為替 (1現地通貨あたり円)	25年度 プロフォーマ実績	26年度通期見通し (期首公表)	26年度通期見通し (Q1公表)	変動% (期首対Q1)
USD	150	155	155	-
EUR	175	184	184	-
THB	4.62	4.93	4.93	-
100 IDR	0.90	0.94	0.89	*-5%*
AUD	96	113	113	-
TWD	4.88	5.01	5.01	-

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-7 2026年度第1四半期(IFRS) 連結貸借対照表（対2025年度 プロフォーマBS）

（億円）

資産	プロフォーマ[1]（2026年3月31日）	当連結会計年度（2026年6月30日）
流動資産：		
現金及び現金同等物	3,235	3,332
営業債権及びその他の債権	3,807	3,901
棚卸資産	4,406	4,420
その他	670	694
小計	12,118	12,348
売却目的で保有する資産	1,520	223
流動資産　合計	**13,638**	**12,571**
非流動資産：		
有形固定資産	6,176	5,581
その他	4,099	4,663
非流動資産　合計	10,274	10,244
資産　合計	**23,913**	**22,814**

負債及び資本	プロフォーマ[1]（2026年3月31日）	当連結会計年度（2026年6月30日）
流動負債：		
営業債務及びその他の債務	3,575	2,885
社債及び借入金	2,843	2,883
その他	4,303	3,629
小計	10,721	9,397
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	488	86
流動負債　合計	**11,209**	**9,483**
非流動負債：		
非流動負債　合計	**2,526**	**3,052**
負債　合計	**13,735**	**12,535**
資本：		
親会社の所有者に帰属する持分	9,323	9,434
非支配持分	854	845
資本　合計	**10,178**	**10,279**
負債及び資本合計	**23,913**	**22,814**
自己資本比率	0.39	0.41
負債比率	0.45	0.44

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出、なお、これらの数値は未監査

A-8 2026年度第1四半期(IFRS) 連結損益計算書
（対2025年度 第1四半期プロフォーマPL）

（億円）

連結損益計算書	プロフォーマ[1]（自 2025年4月１日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度（自 2026年4月１日 至 2026年6月30日）
売上収益	5,231	5,979
売上原価	4,347	5,035
売上総利益	884	944
販売費及び一般管理費	657	708
その他の収益	19	74
その他の費用	26	19
負ののれん発生益計上前営業利益	220	290
負ののれん発生益	-	2,332
営業利益	220	2,623
金融収益	64	14
金融費用	34	28
持分法による投資利益	2	14
税引前四半期利益	252	2,623
法人所得税費用	38	78
四半期利益	214	2,544
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	182	2,515
非支配持分	32	30
１株当たり四半期利益		
基本的１株当たり四半期利益（円）	6.61	91.22
減価償却費及び償却費	217	237

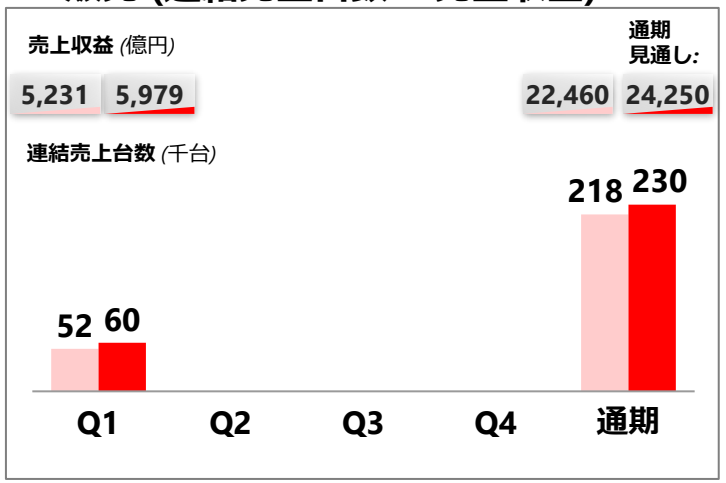
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

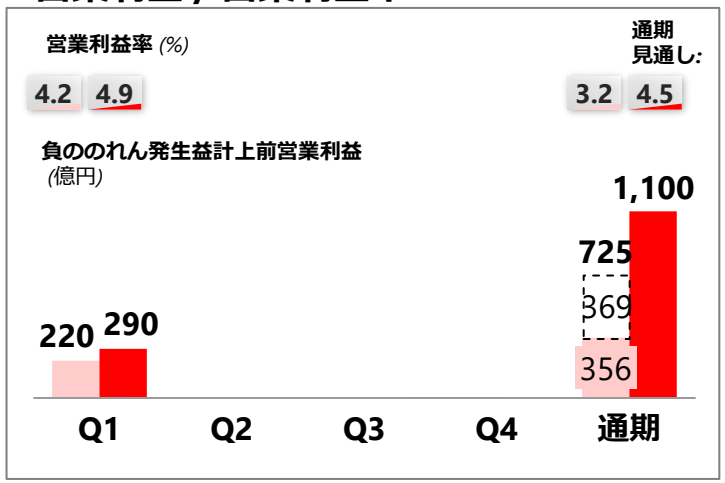
A-9 ARCHION連結 主要財務指標
(2025年度プロフォーマ実績 vs 2026年度)

2025年度プロフォーマ実績[2]　2026年度 (26年度第1四半期実績、通期数値は26年度通期見通しベース(Q1公表))

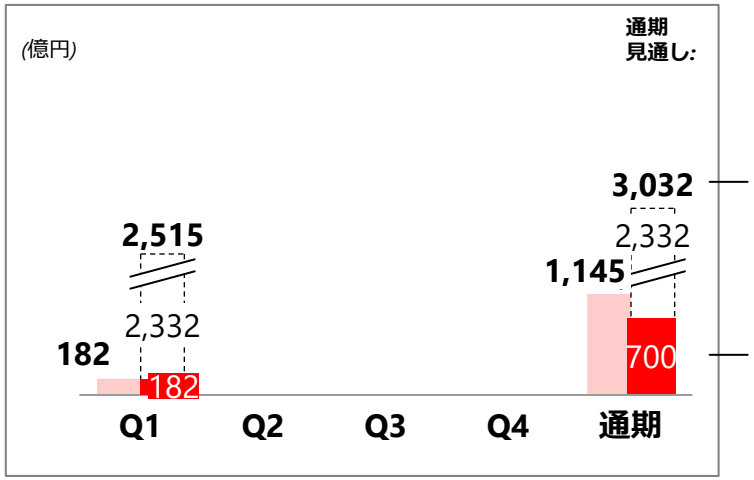
販売 (連結売上台数 + 売上収益)



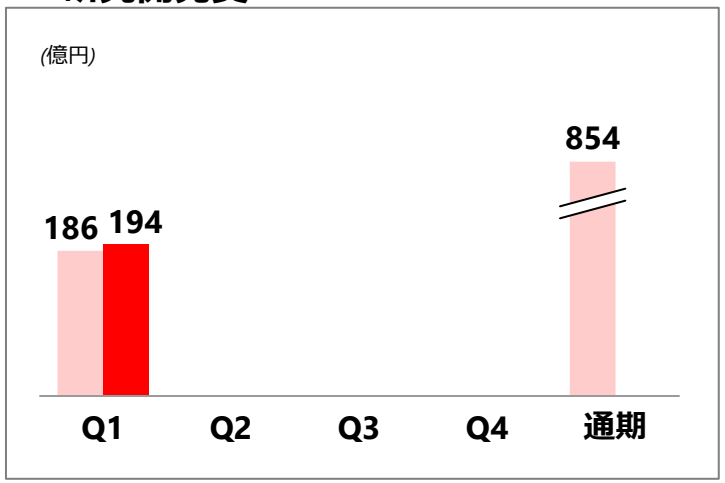
営業利益 / 営業利益率



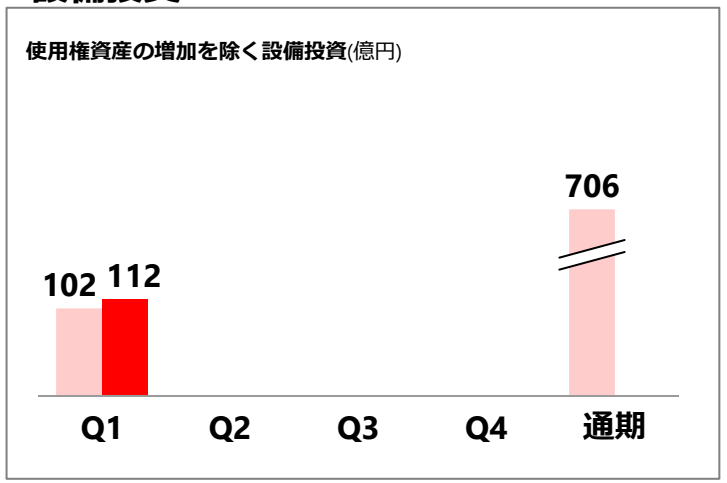
親会社の所有者に帰属する当期利益



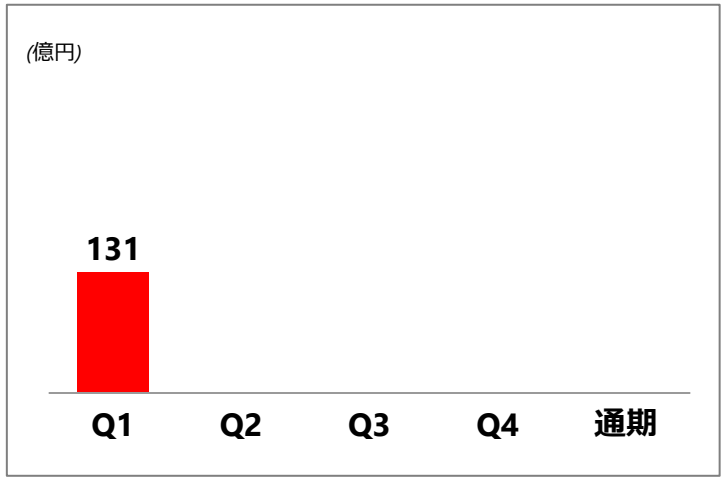
研究開発費



設備投資



フリーキャッシュフロー[3]



1 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある 2. 2025年度の連結プロフォーマベース。北米における認証に関連する369億円の特別損失を除外するよう調整済 3 フリー・キャッシュ・フロー：営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計から、連結範囲の変更を伴う子会社の取得による収入を除いたもの

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-10 発行済株式総数の算出方法

(単位：百万株)	HINO (2025年12月31日)	＋	トヨタへの第三者割当 (2026年3年27日)	＝	HINO (経営統合前)
普通株式	575		+271		**845**
A種種類株式	0		+176		**176**
発行済株式総数	575		+446		**1,021**

((単位：百万株 / 2026年4月1日時点)	HINO ※1	＋	FUSO ※2	＝	ARCHION CARRYING TOMORROW
普通株式	845		1,736		**2,581**
A種種類株式	176		0		**176**
発行済株式総数	1,021		1,736		**2,757**

※1 ARCHIONは、株式交換による日野自動車の取得にあたり、日野自動車の株主に対し、普通株式約8億4,500万株およびA種株式約1億7,600万株を交換した。

※2 ARCHIONは、株式交付による三菱ふそうの取得にあたり、三菱ふそうの株主に対し約17億3600万の普通株式を交付した。

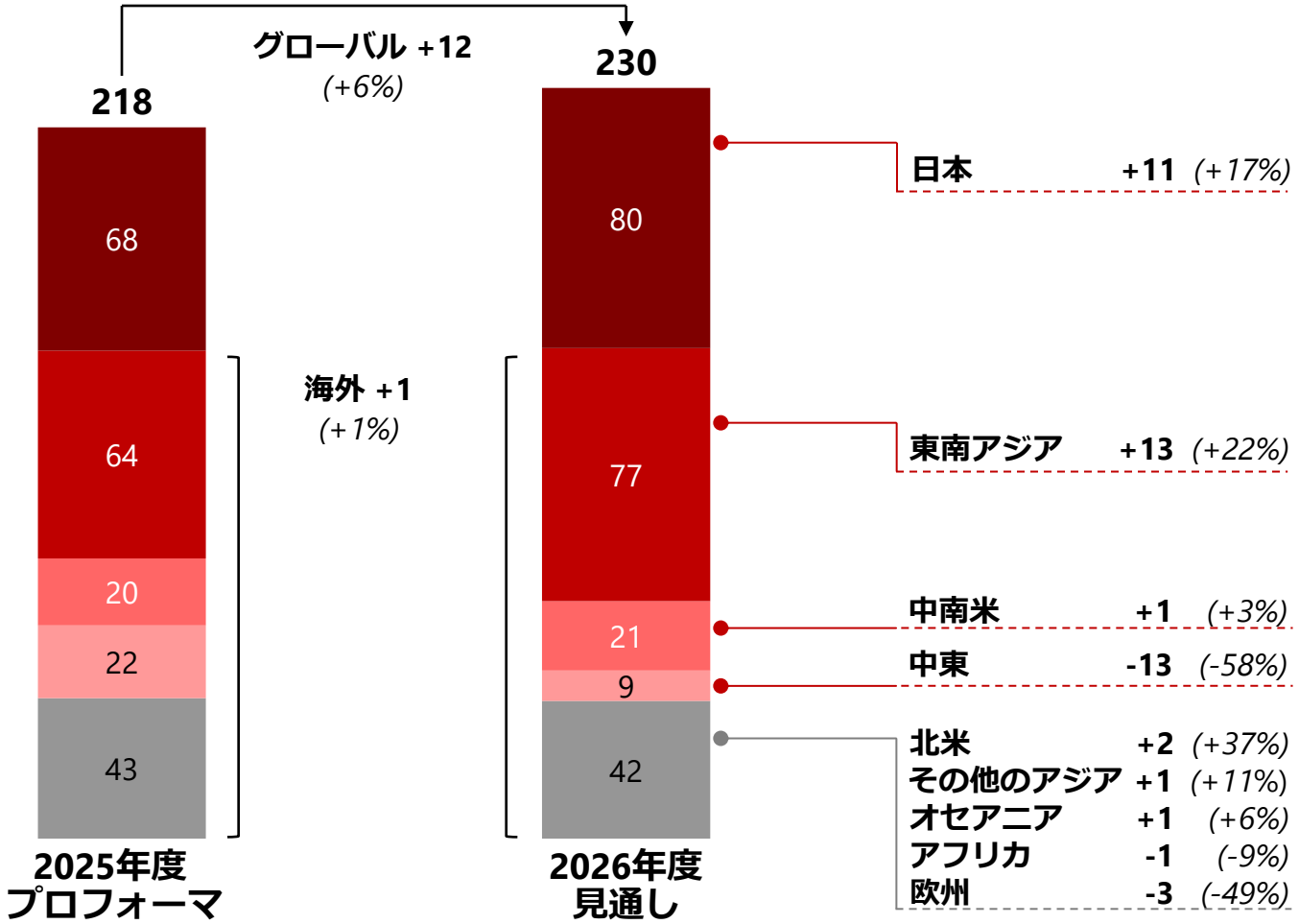
注：A種種類株式には議決権はなく、譲渡制限が付されています。また、A種種類株式には、A種種類株式には、普通株式を対価とする取得請求権が付されています。

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-11 (再掲) 2026年度の連結売上台数は国内の台数回復により増加の見通し

連結売上台数[1]

(単位：千台)





HIGHLIGHTS

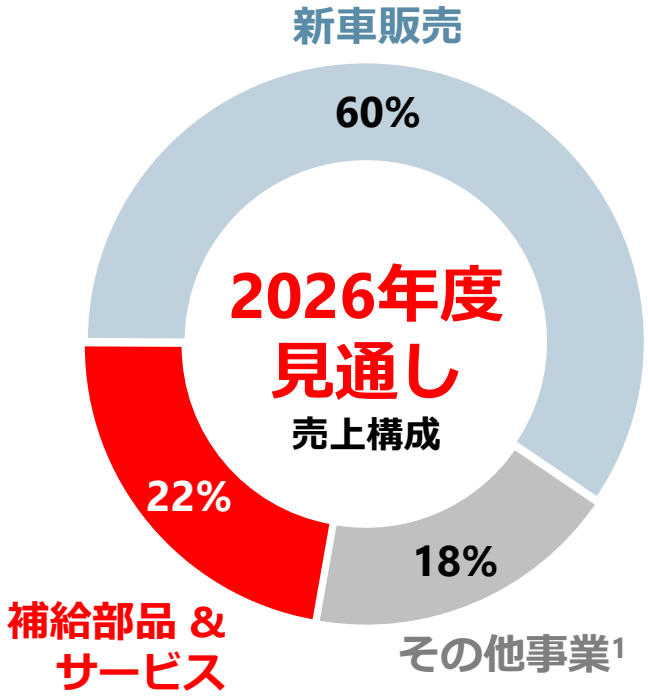
- 主に**日本の出荷再開に伴う台数の回復**により、12千台増(+6%)
- **インドネシア政府向け大規模受注(約20千台/年)**により東南アジア地域は大きく増加
- **中東地域では、市場の混乱が継続**し、売上台数も減少(-58%)の見込み
- **その他の地域**は欧州地域での減と北米地域での増が相殺され、**やや減少(-1%)**の見込み

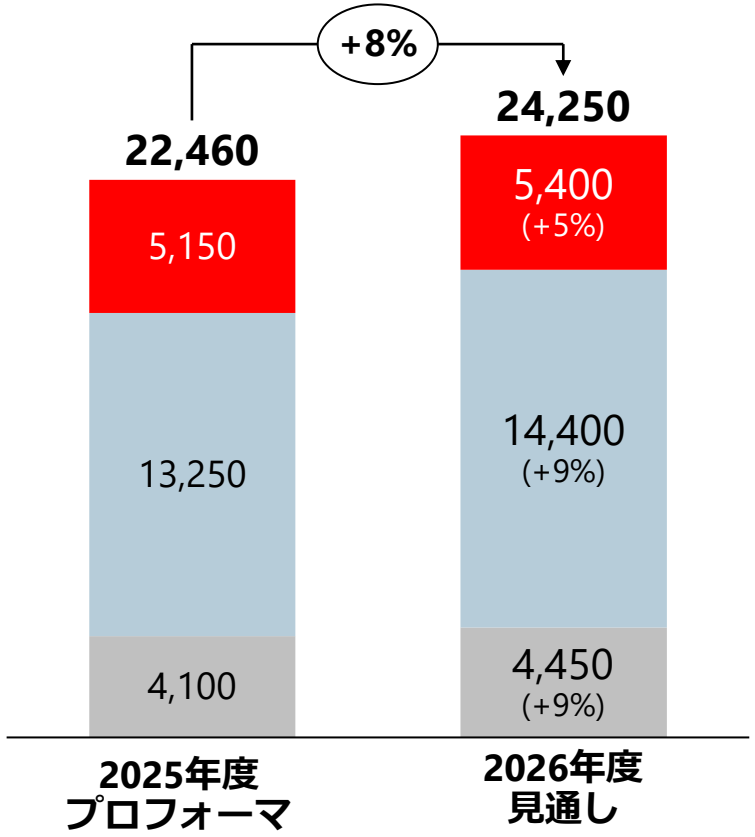
1 連結売上台数の定義については参考資料A-5を参照; 2 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度(25年4月～26年3月)および、日野25年度の社内データの合計; 3 数値は千台単位で四捨五入

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

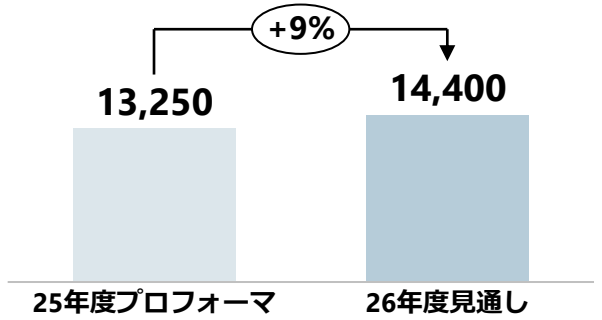
A-12 (再掲) 2026年度の売上高見通し：8%の着実な売上成長が見込まれる

事業別売上
(単位：億円)



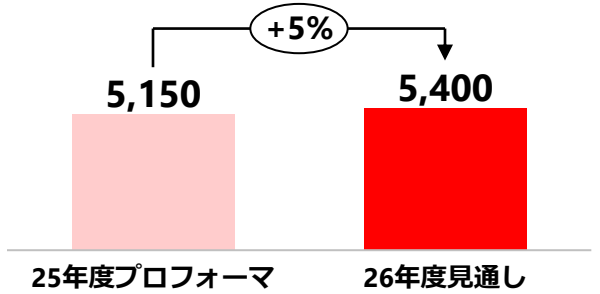


新車販売



- 販売数量の増加に加え、大中型の構成比上昇および為替レートの好影響により、**大幅な売上増(+９%)**の見込み

補給部品 & サービス



- 日本を中心に**継続的な部品・サービス売上増(+5%)**の見通し

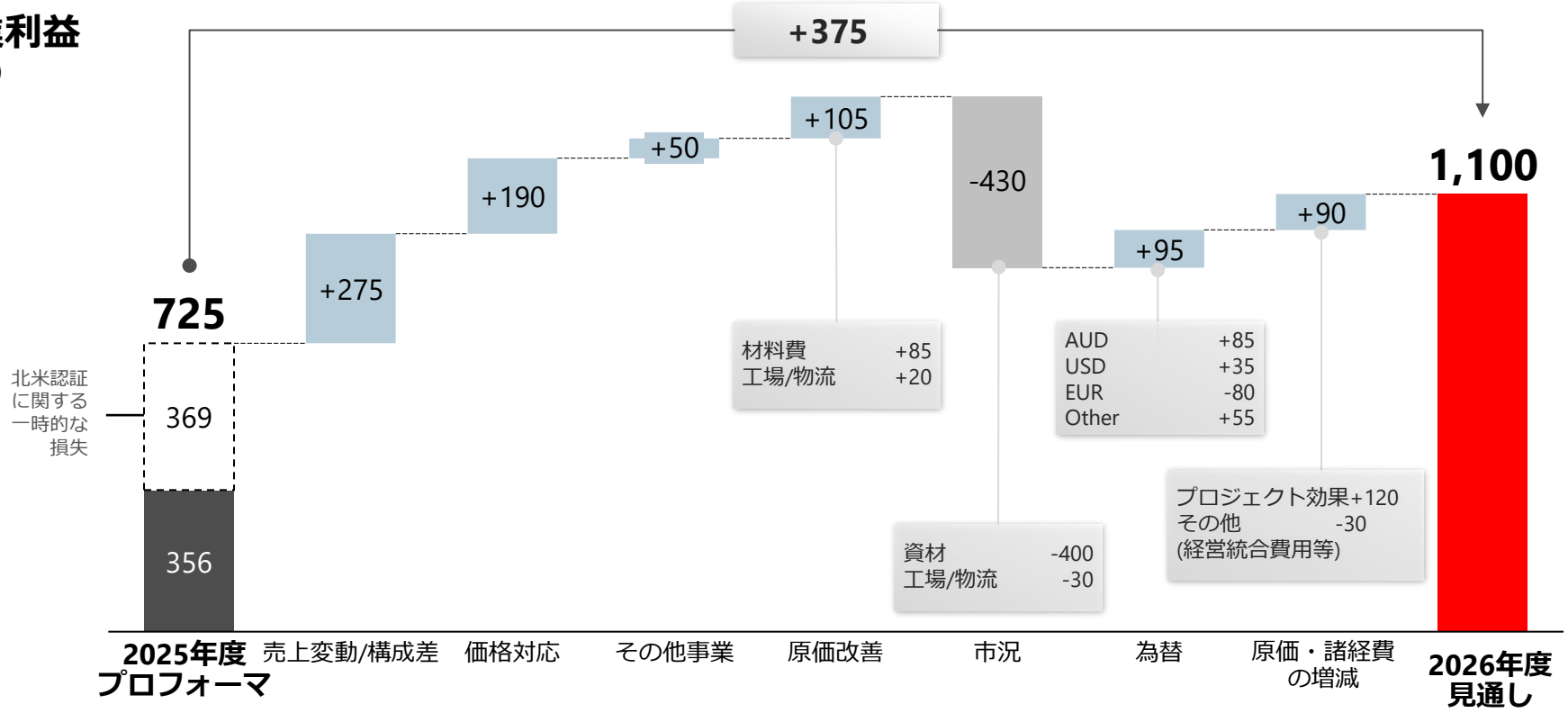
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 その他事業の収益は主に産業用エンジン、トヨタ向け部品・ダイナOEM等。2 数値は50億単位で四捨五入しています。

A-13 (再掲) 2026年度(IFRS) 営業利益見通し 増減分析 (対2025年度プロフォーマ)

連結売上台数 (千台)	218	230
売上収益 (億円)	22,460	24,250
営業利益率[1] (%)	3.2%	4.5%

営業利益 (億円)





HIGHLIGHTS

- 2026年度の営業利益は1,100億円、2025年度プロフォーマ比375億円の増益となる見込み
- 日本市場での出荷再開による販売台数の増加、部品・サービス事業の継続的な成長、その他事業の好調が主な要因
- コスト面でのインフレ圧力が、価格対応、原価改善、為替による好影響を上回ると予想

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 売上高営業利益率(IFRS) ;2 25年度の数値はプロフォーマから北米認証に関連する一時的な損失369億円を除いた数値

ARCHION

CARRYING TOMORROW